

大会開催の経緯

History of Competition

2000 Formula SAE® に初挑戦

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会のなかに「Challenge! Formula SAE。」プロジェクトが発足し、基本設計、空力特性などを検討した。1998年4月、5大学1高専の合同チーム「Challenge! NIPPON」チームが発足し、エンジンは国士館大学、ワイヤハーネスは上智大学、メインフレームは東京都立航空工業高等専門学校、カウルは日本大学、サスペンション、ステアリング、組み立ては神奈川工科大学が担当した。

Formula SAE。は、排気量610cc以下の4サイクルエンジンの使用が義務づけられている。「Challenge! NIPPON」チームは、軽自動車の660ccエンジンをストロークダウンにより規定の610cc以下にして臨んだ。排気量608cc、車両質量360kg、FRP製フルカウルの車両で、2000年5月のFormula SAE。にアジアから初参戦した。総合成績は、参加104チーム中28位で、初参加の優秀チームに贈られる新人賞を受賞した。

以降、2001年は、国士館大学・上智大学・日本大学の合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦した。2000 Formula SAE。プロジェクトでは活動方針、進行管理などについては担当の先生に委ねがちであったが、2001 Formula SAE。ではマネジメント、進行管理、広報活動についても学生自身が自ら行った。参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大チーム92位。

2002年は3チームが単独校として参戦し、参加125チーム中、国士館大学チーム74位、神奈川工科大学チーム77位、上智大学チーム86位。



2000年合同チームの車両



2001年合同チームの車両

日本大会に向けてのトライアルイベント開催

トライアルイベントは、本大会開催に向けた大会運営リハーサルと位置づけ、2001年9月23、24日にツインリンクもてぎで開催した。参加車両は、2000 Formula SAE。参戦の合同チーム車両J-001、2001 Formula SAE。参戦の合同チーム車両J-002と神奈川工科大学チーム車両K-001の3台。Formula SAE。で行われている車検、静的評価、動的評価を一通り行った。このトライアルイベントにより一通りの大会運営ノウハウを得、2003年の本大会開催に向けて本格的な準備を進めることになった。



2001年神奈川工科大学チーム

第1回 全日本 学生フォーミュラ大会に向けての試走会開催

2003年9月開催の第1回 全日本 学生フォーミュラ大会、および5月開催の2003 Formula SAE。に向けた試走会を3月10、11日、関東支部が主催し、ツインリンクもてぎ北ショートコースにて開催した。参加車両は、宇都宮大学・明星大学合同、神奈川工科大学、国士館大学、東京電機大学、東京大学、慶應大学、武蔵工業大学、金沢工業大学の8チーム。その他、走行会に車両製作が間に合わなかったが第1回大会に参加を予定しているチームや、第2回以降の大会参加を目指し見学参加した大学を含め24大学、総勢400名近い盛大な走行会となった。車検、練習走行、ブレーキテストを行い、これらをパスした5台の車両が加速、スキッドパッド、周回コースを走行した。

この他にも、同年8月2,3日にアイシン精機藤岡テストコース（豊田市藤岡町）にて中部支部と関西支部を主体にした試走会が開催された。



2002年国士館大学チーム

第1回～第4回大会の結果

	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
第1回大会	上智大学	国士館大学	東京大学	神奈川工科大学	宇都宮大学	金沢大学
第2回大会	University of Texas at Arlington	神奈川工科大学	国士館大学	芝浦工業大学	宇都宮大学	金沢工業大学
第3回大会	金沢大学	神奈川工科大学	国士館大学	芝浦工業大学	東京電機大学	日本大学理工学部
第4回大会	上智大学	名古屋大学	University of Michigan - Ann Arbor	東京電機大学	宇都宮大学	立命館大学



2001年トライアルイベント